

青年部
だより

子どもたちと有意義なふれあい

青年副部長 附 野 雅 一

あけましておめでとうございます。

恒例の第30回ふれあい餅つき大会が12月6日(日)午前9時から、海の子学園入舟寮で開催されました。

学園からは施設長や職員約30名と、子供たち約100名、全港湾大阪支部からは、青年部員を中心に約40名が参加しました。

午前中は、餅つき、模擬店を中心に各部員が役割分担し、子

供たちと交流しました。

午後からは、紙芝居、ドッジボール、座談会に分かれて、青年部員が扮したサンタやトナカイによるプレゼントなどで楽しみました。



私は今回、午前中の模擬店を担当し、フランクフルト、餅の味付けなどをしながら、子供たちと交流することができました。午後からはドッジボールに参加し、童心に返って、懸命に子供たちと球技を楽しみました。

今回で4度目の参加ですが、組合としての活動を通じて、施設の子供たちと交流し、力づけられる有意義な活動と感じています。



歓迎 新加入組台員

(2014.12 ~ 2015.11)

TOP資源分会

吉田達哉
糸瀬浩一
丸山博志

大阪サンエー分会

日高三津子
南野一樹
今崎善秀
瀧本真司
吉田光次
池田剛

中井商店分会

齊藤康一

大商分会

岡崎隆
新正大分会
隈元昭宏

ミナト産業分会

竹田親弘
鈴木大和
大森分会
玉城直樹
川野久幸
山野貴文

大正埠頭分会

高田剛士

スミサク分会

林涼史
岡村憲道
福三田典孝
藤田宏

大阪港埠頭

ターミナル分会
市川佳介
尼神運輸分会
浜口英樹
此花荷役分会
金津亮介
松浪瑛介

サントリー分会

上村智
水口亮太

サントリー分会

海田工業分会
浅田勝哉
喜屋武進一

グエン・外・ツ

津田恵一
津田雅人
西川直斗
畠中健志
宮崎茂昭

港石油分会

荒川洋平
藤堂貴志
松木雄資

(敬称略・順不同)

謹賀
新年

だんけつ

第294号 2016年1月1日



発行 行 12-27
大 阪 市 港 区 築 港 1
全 日 本 港 湾 労 働 組 合 関 西 地 方 大 阪 支 部
発 行 責 任 者 林 繁 行



困難を超えて前進しよう

執行委員長 山元一英

昨年は、労働組合を始め労働者にとって大変厳しい年でした。

2月から5月の4か月間は、橋下・維新の会が提唱する「大阪都構想(政令市・大阪の解体)」の可否を問う住民投票対応に明け暮れ、大阪市解体反対派が勝利を勝ち取りました。

喜びもつかの間、その後は安倍政権が推し進める安保関連法の成立に反対する闘いに、全国の人びとと共に力を尽くしました。しかし、この「戦争」法案は、9月に強行成立させられました。

11月の大阪ダブル選挙では、5月の住民投票の否決票を「反維新票」として生かすことができず、大阪維新候補の圧勝を許す結果となりました。こうした政治状況が、私たち労働者にいっそう厳しい生活をもたらすであろうことは明白です。

米国の戦争に加担

「戦争」法の成立により、日米の軍事協力が飛躍的に強化されています。中国包囲網形成を目論む米国は、沖縄を始め南西諸島に自衛隊配備を要請し、また、武装した自衛官が3月には

南スーダンに派遣されます。米国は中国との直接の軍事衝突を避け、ミサイルの届かないところまで在日米軍を撤退させ、他方では中国と日本の軍事緊張を煽り、アジアの防衛線を日本に肩代わりさせるという軍事戦略を打ち出しました。「戦争」法の廃止に向けた闘いを強化しなければなりません。

不透明なTPP

第2に、TPP(環太平洋経済連携協定)加盟が決定されました。「自由貿易」を標榜し、関税の完全撤廃をめざすTPPは、日本の農業を始めとする広範な産業に打撃を与え、食料の充足を外国に依存する社会となることを意味しています。TPP加盟の国会上程を許してはなりません。

新自由主義を拒否しよう

第3に、今日推し進められている政治・経済・社会保障・教育・労働などの政策は、すべて新自由主義路線と言われるものです。政治的には「小さな政府」、経済的には「競争と効率」、福祉では「民間活力と受益者負担」、

教育では「選別と排除」、労働では「労働力の自由化」に象徴されます。実態は、独占資本の専制支配を強化し、自由競争市場を拡大し、社会保障を削減し、成績による選別と排除の教育を導入し、労働分野では非正規雇用労働を増加させ、貧富の格差を更に拡大し、無慈悲な競争社会を現出させるものです。

私たちの課題

この間の戦争法案に反対する全国的な運動の中で、強権的な政治状況に反対する大きな芽も台頭してきました。「SADL(サドル)」や「SEALDs(シールズ)」と呼ばれる若者たちの運動です。彼らは、戦争に反対し、貧困に反対しています。大阪ダブル選挙では、維新政治に反対との立場を明確にしました。

私たちは、このような人びとと共に大衆運動を担い、労働運動の強化と、当面、7月の参議院選挙での平和勢力の勝利をめざして奮闘しましょう。

今年は、私たちにとって実り多い年としましょう。

